

工区内の道路舗装工事に一、八五三万円が計上されています。これに、特別会計である文化観光施設整備事業会計から、市道一六二号線(湯の湖畔)と大衆浴場)、同一四八号線(中宮祠小中通学路)、同四号線(松原町大谷川碎石脇)など五路線の舗装工事と、山内地区三路線の市道改良工事などに投入される八九三万円とあわせると、総額

五、九一九万円が道路整備事業費として、新年度に予算化されています。また、懸案の都市計画事業も駅前区画整理事業第二工区の計画決定(三月号詳報)により、市民の皆さんのご協力をいただき、新しい都市づくりを推進するため、前記の第一工区街路舗装も含めて、本年度は六、〇〇〇万円が計上されています。

清掃業務の充実など 生活向上と市民福祉に努力

市民だれもが、豊かでしあわせな暮らしができるよう、市民生活の向上と福祉策として、日常生活に直結している清掃係を清掃事業所に格上げ、業務態勢をととのえるとともに、清掃車二台を三〇二万円で購入、また清滝焼却場改良工事(一六〇万円)、宝殿焼却場の炉補修(五〇万円)などを行なうほか、下水道事業も、中宮祠、湯元の両下水終末処理場の整備費に二六五万円が計上されるなど、清潔なまちづくりのために、力がそそがれています。

また、敬老年金制度の恩恵をより多くの高齢者が受けられるよう、受給資格年齢が、八十才から県内十一中最低の七十八才に引き下げられ、これにより一四〇人のお年寄りが、新たに受

中宮祠地区など 水道施設を大幅に増進

水道は日常生活に欠くことのできないものですが、観光客が増加していることや、生活水準の向上で、市民一人あたりの水道使用量が増したなど、水道需要の増大に備え、給水施設の拡充や、給水区域の拡張などが大幅に行なわれます。下水道の普及などの条件も加わって、これまでの施設では、需要に追いつけなくなってきた中宮祠地区では、新たに浄水場を建設して、歌ヶ浜などの水不足を解消すると同時に、丸山地区周辺の給水区域の拡張を行ない、市民生活環境と観光産業の向上がはかられます。また、都市計画事業に伴う配水管の布設や、霧降大橋および丸美地区の配水管布設など、中宮祠地区とあわせて総額三、〇〇〇万円が投入され、給水態勢に万全を期すとともに、水道料金の徴収を民間に委託し、事務の効率化と経費の節減を行ない、サービスの向上をめざしています。

安心してすめる町づくり

年々増加している交通事故に対処するため、前年度に引き続き、市内の主要個所にガードレール、カーブミラーなど、事故防止施設の増強に七〇万円を計上、救急車の整備や、協力団体に補助金を交付し、市民ぐるみの交通事故撲滅対策を押し進める方針です。

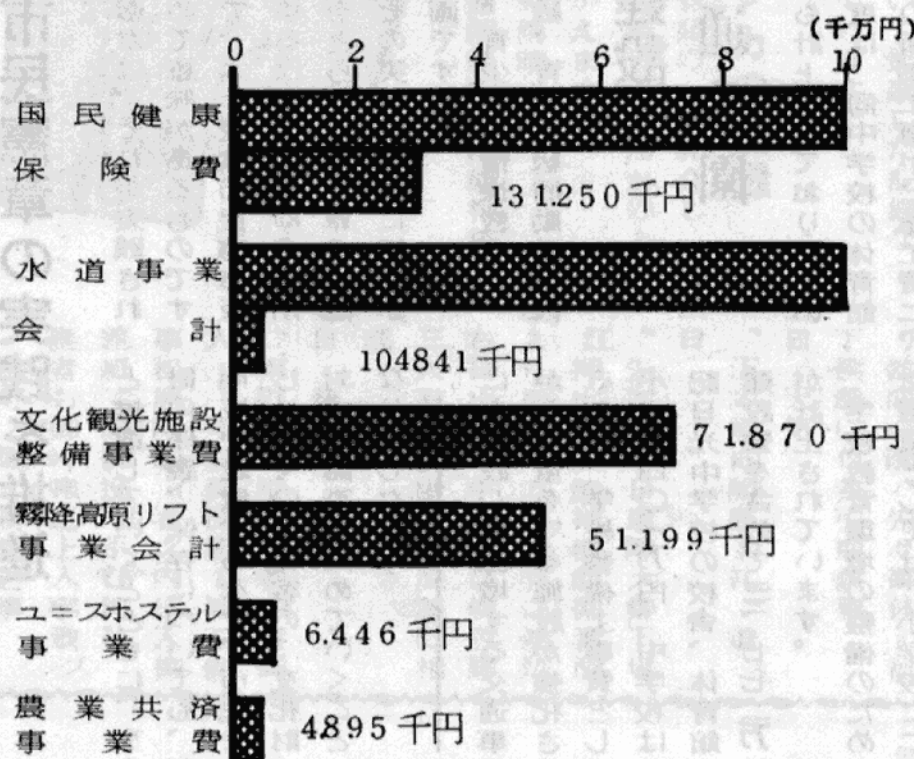
住宅の緩和と 人口流出の防止

住宅事情を緩和し、市民生活の安定をはかるとともに、定住人口を確保し、人口流出を防止するため、市営住宅二〇戸(場

また、一般市民だけでなく、年間数百万人におよぶ観光客を火災から護るため、湯元および本部に消防車を購入(五五〇万円)配置するとともに、小来川に可搬ポンプの積載車を購入(八〇万円)するほか、防火貯水槽二基を新設(一八〇万円)するなど、初期消防活動の敏速化と、防災態勢の確立をはかり、安心して住める町づくりに努力がはらわれます。

(次頁へ続く)

昭和45年度特別会計予算額



昭和45年一般会計
性質別構成比
総額9億3241万6000円

